



とやまワカモノサミット2025 開催報告書

公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト・一般社団法人 みらいまちラボ共同事業体

告知物

とやまわかモノサミット

アイデアを持った若者たちに
ビジネスチャンスを
与えてあげよう!!

2025 10.26 (日)

ビジネス大会

地域創力発信! ビジネス課題解決!

高山の魅力や課題を見つけて
ビジネスアイデアを
考えよう!

【入場料】無料
【会場】高山市 高山市民会館
【受付時間】10月25日(土) 10:00~17:30
【開会式】10月26日(日) 10:00~11:00

【主催】高山市 高山市民会館
【協賛】高山市 高山市民会館
【後援】高山市 高山市民会館

地元高校生にエール

オフィスサルサポーター
仮想株主募集
になるう!!

2025 10.26 (日)

とやまわかモノサミット2025

ビジネス体験と起業家精神を育む
高校生向け起業教育イベント!

【入場料】無料
【会場】高山市 高山市民会館
【受付時間】10月25日(土) 10:00~17:30
【開会式】10月26日(日) 10:00~11:00

【主催】高山市 高山市民会館
【協賛】高山市 高山市民会館
【後援】高山市 高山市民会館

とやまわかモノサミット2025

アイデアを持った若者たちに
ビジネスチャンスを
与えてあげよう!!

2025 10.26 (日)

ビジネス大会

地域創力発信! ビジネス課題解決!

高山の魅力や課題を見つけて
ビジネスアイデアを
考えよう!

【入場料】無料
【会場】高山市 高山市民会館
【受付時間】10月25日(土) 10:00~17:30
【開会式】10月26日(日) 10:00~11:00

【主催】高山市 高山市民会館
【協賛】高山市 高山市民会館
【後援】高山市 高山市民会館

とやまわかモノサミット2025

アイデアを持った若者たちに
ビジネスチャンスを
与えてあげよう!!

2025 10.26 (日)

ビジネス大会

地域創力発信! ビジネス課題解決!

高山の魅力や課題を見つけて
ビジネスアイデアを
考えよう!

【入場料】無料
【会場】高山市 高山市民会館
【受付時間】10月25日(土) 10:00~17:30
【開会式】10月26日(日) 10:00~11:00

【主催】高山市 高山市民会館
【協賛】高山市 高山市民会館
【後援】高山市 高山市民会館

エントリー訴求チラシ

投資家訴求チラシ

イベント告知ポスター

イベントパンフレット

とやまワカモノ・サミットセミナー

日程：2025年8月3日 **会場**：ヘルジアンウッド

内容：MAE株式会社・前田社長を招いた高校生向けセミナー

1. 概要

富山の若者が地域の未来を考え、挑戦のきっかけを得ることを目的に「とやまワカモノサミットセミナー」を開催した。メイン企画は前田社長とのパネルディスカッションで、高校生約20名が参加した。

2. プログラムのポイント

● オープニングメッセージ

中川より『地方起業の教科書』を引用し、「地方の若者こそ最強の起業家である」とエールを送った。

● 前田社長 講演

医療・介護費を中心とした社会保障費の現実、国債と産業構造の関係、製薬企業としての新事業への挑戦姿勢 富山への熱い想いと民間投資の重要性、現場の視点から、社会課題とビジネスが密接につながっていることを語っていただいた。

● 高校生との質疑

高校生からは、「地方での起業の可能性」「医療費増大の課題」「若者に求められる挑戦姿勢」など前向きな質問が多数寄せられ、活発な議論が生まれた。

3. セミナーを通じた学び

地域を思う情熱こそ、事業を動かす原動力になる、若者が地方創生の中心的プレイヤーになれる 社会保障や国の財政といった構造的課題が、地域ビジネスにとっても重要なテーマであることを理解できた



とやまワカモノ・サミットセミナー

6月15日、「とやまワカモノサミット2025セミナー」を高岡市で開催しました。高岡市の協力でコワーキングスペースを無償提供いただき、高校生に起業体験プログラムや起業の意義を紹介。「高校生が参加したくなる企画」をテーマに意見交換を行い、その発想力に感心しました。起業への関心が高校生や中学生にも広がり、地域の動きが活発になっています。



8月17日、「富山大学および県立富山大学の起業部にてミニ講義」を実施しました。地域資源を活かしたビジネスモデルづくりや事業化のプロセスを紹介し、学生たちは地方での起業の可能性について意欲的に議論しました。毎年起業部から「とやまワカモノサミット」のピッチに参加しており、今回の講義もその新たな挑戦へのきっかけとなりました。



8月19日、とやまワカモノサミットのパネラー・堂田さんのご厚意で、高校生事務局メンバーがGoogle東京支社を見学しました。富山からも2名が参加し、最先端の働き方や企業文化に触れる貴重な機会となりました。素敵な大人たちの姿に刺激を受け、生徒たちにとって将来を考えるきっかけとなりました。



とやまワカモノ・サミット2025 とやま発! 起業体験プログラム

同時
募集

地元高校生 X 地元企業

ビジネス体験で起業家精神を育む
高校生向け起業教育イベント!

2025.
10.26
(SUN)

高校生起業体験プログラム実践販売

TOYAMA YOUTH GOURMET
地元高校生 X 地元企業
とやまワカモノマルシェ
地元高校生の飲食ブース開店!
地元の未来はワカモノの想像力と企業の創造力が面白くなる!

富山県内の高校に
出張講義を実施!

【日程】2025年6月～9月(10校を予定)
●「起業体験プログラム」を使用した
マルシェへの出展
マルシェ出展を希望される高校には
参加に向けた講義も予定しています。

高校、講師陣、出資いただく金融機関、地元企業との連携をトータルでサポート!

ワークショップ

イチから事業を
起ち上げるための
講義に参加

事業プラン構築

事業プランを
組み立て・作成し
サービスを決定

パートナー探し

商品開発を
サポートしてくれる
地元企業を探す

協賛企業様募集

商品販売に向けた
出資を募るための
投資家説明会

事業起ち上げ

パートナー企業との
協力体制や商品開発の
最終チェック

模擬店の出店

飲食ブースにて
自分たちの商品を
実際に販売

成果報告会

パートナー企業の
株主総会で
結果報告を発表

起業体験を
楽しく面白く
指導!

公益社団法人
ジャパベンチャープロジェクト
中川 直洋 代表理事

講義高校 (6月ー10月)

富山高等専門学校 (30名)

新湊高等学校 (30名)

富山商業高等学校 (30名)

滑川高等学校 (20名)

高岡向陵高等学校 (10名)

新川高等学校 (10名) *学年イベント100名

第一高等学校 (2名)

上市高等学校 (70名)



個別サポート チャレンジャー



リモートにてチャレンジャー一人ひとりに対して個別指導を行い、事業プランのブラッシュアップを3回以上実施しました。
ビジネスモデルを磨き上げるためのノウハウと、1対1の手厚いサポート体制を強みとしており、その特長を活かした個別セミナーでは、チャレンジャーのアイデアを共に具体的なビジネスモデルに落とし込み、さらに内容の精度を高めました。丁寧な伴走支援により、各チームは実現可能性の高い事業計画へと発展し、発表の質を高めることで審査員や観客から高い評価と納得感を得ることができました。

個別サポート マルシェ



マルシェ参加を希望した高校において、起業体験プログラムを通じてさらに個別セッションを実施しました。

講義では、商品開発から地元事業者への提案、事業計画の策定までを丁寧にサポート。投資家向け説明会を経て、実践販売に向けたブラッシュアップや、仕入れ先との折衝等の対応方法などについても具体的なアドバイスを行いました。さらに、「とやまワカモノ・サミット」当日のマネジメントやオペレーション面についても指導を行い、生徒たちが自立して実践できる体制づくりを支援しました。

とやまワカモノ・サミット2025 投資家説明会 10月2日

「とやまワカモノサミット2025・マルシェ投資家説明会（株主総会）」が富山会館およびオンラインで開催され、県内10校の高校生起業チームが投資家を前に事業計画を発表した。各校は地域の特産品や文化を生かした独自のビジネスを提案し、滑川高校の「きらりん焼き」「べっぴんコーラ」、新川高校の「大根役者カレー」、高岡向陵高校の「向陵キーマカレー」など個性豊かな商品が披露された。投資家からは総額約50万円の出資があり、生徒たちは配当方針や販売戦略を熱意をもって説明。地域資源を活かした高校生の挑戦は、次世代の起業家育成と地域経済の活性化につながる意義ある機会となった。



開催概要

一人でも多くの 地域&社会起業家を育て ビジネスによる「富山発!地方創生」を目指す。富山県の様々な魅力向上と課題解決に向けてこれからの富山県を担う若者が 事業モデルを提案。事業アイデアのブラッシュアップを通じて付加価値をつくり出し、さらに若者がビジネスの発表を行う「とやまワカモノ・サミット」を通し富山県下の産官学連携を図りながら、富山県に起業マインドを浸透させる。

日時 10月26日（日） 11時-16時30分

場所 富山駅

主催 富山県

共催 公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

一般社団法人みらいまちラボ

日本政策金融公庫

後援 富山市



協賛企業



起業体験プログラム出資企業 出資企業

DERA-DESIGN 村本隆 エドマエスシマサ 竹中志光 家印(株) (株)グラフ
(株)深松組北陸支店 社会保険労務士法人 LaLaコンサルティング
濱中小企業診断士事務所 竹中志光 医療法人吉本レディースクリニック
(株)ユーズドネット 小竹三世 (株)ハテナブック 品川祐一郎
(株)野上緑化 (株)就活ラジオ (有)hs style 弁護士法人山本・越後法律事務所
(有)放生若狭屋 (株)上市屋 (有)北砺ビルサービス
(有)荒木商会 (株)ル・ソレイユ アルミファクトリー(株) イセ(株)

オープニング





富山第一高校

源美羽

さん

18歳

日本のスポーツ・ファッション界にとやまから革命を起こします！

スポーツ×ファッション

眠るユニフォームから新しい日常とカルチャーを

使われなくなったスポーツユニフォームをリメイクして新たな価値を生み出すプロジェクト。ジェンダーレスなデザインで性別や年齢にとらわれず着られる日常服や小物を展開し、スポーツとファッションを融合。アンケート結果をもとに価格設定やターゲット戦略を立て、今後は富山県内外のチームや学校との連携を通じて、地域循環と新しいカルチャーの創出を目指している



チャレンジジャーナル
「ファッションズスポーツを盛り上げま賞で賞」
北陸銀行賞・日本政策金融公庫賞



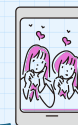
スポーツ×ファッション

眠るユニフォームから
新しい日常とカルチャーを。

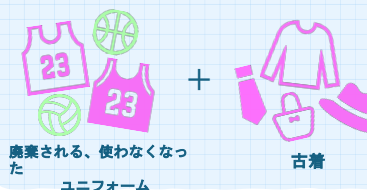
戦略

〈買うことに抵抗感ある人に向けて〉

- ・インスタなどに様々な着こなしをのせる
- ・学生だけでなく、選手や年齢が上の人でも抵抗のないデザインにし着こなし例を作る
- ・洋服以外にもポーチやキーホルダーなど小物を展開する



ビジネス紹介



今後の展開

- ・富山のほかのスポーツチームとのコラボ
- ・他県のスポーツチームとのコラボ
- ・学校とも連携して市場を拡大



ユニフォームについて



お願い

- ・富山のほかのスポーツチーム
ほかの県のスポーツチームを紹介してください！
- ・今後慎重に資金調達やボードメンバーを決め
起業します！！





新湊高校

三富大和さん

16歳

自分がやりたいと
思っている和食の
経営を伝えます！

食を通してみんなを笑顔にする！

「食を通してみんなを笑顔にする」を目標に、子育て世代を支える和食ファミリーレストランの開業を目指している。手巻き寿司体験や「ストレスを食べる」企画、子どもを一時的に預けられる場所の提供などで、育児と仕事の両立を助けたいと考える。今後5年間で資格取得・専門学校進学・飲食業経験を重ね、夢の実現を計画している。



チャレンジャー2 「手巻きで子育てしま賞」

食を通して
みんなを笑顔にする！

新湊高校 2年 三富 大和

自分で飲食店を
開きたい

担任の先生の
力になりたい

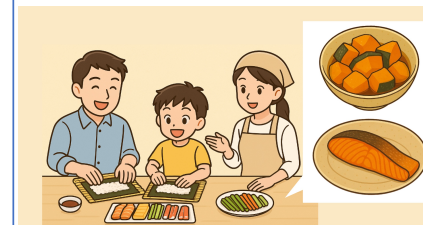
ファミリー向けの和食レストラン

【きっかけ】



小学生高学年の時に行った
「金沢まいもん寿司」

- ・サービスに惹かれた
- ・お客さんとの距離が近い接客に
居心地の良さを感じた



なんで子育て世代向けのの？

担任の佐藤先生の力になりたい



子供が産まれてから子育てと
仕事の両立がすごく大変そう

【この実現に向けての5ヵ年計画】

令和7年度（高校2年）：商業科の検定資格の取得&調理する
高校3年：調理専門学校の進路&料理知識を勉強する
専門1年：飲食店でアルバイトノウハウ・資金集め
専門2年：飲食店でアルバイトで資金調達&弟子入り
社会人1年：弟子入り&自分が開きたい店を
より繊細に、具体的に決める！



富山国際大学付属高校

萩野朱音 さん 18歳

富山のラーメンで県
の魅力を広める！

次の富山の主役はラーメンです

ラーメンを通じて富山の若者層に魅力を発信し、観光誘致につなげることを目指している。県内高校生・大学生へのアンケートで人気店を調査し、SNSでラーメンマップやランキングを発信。将来的には「富山ラーメンフェス」を開催し、若者が楽しみながら地域を盛り上げる仕組みを作る構想だ。

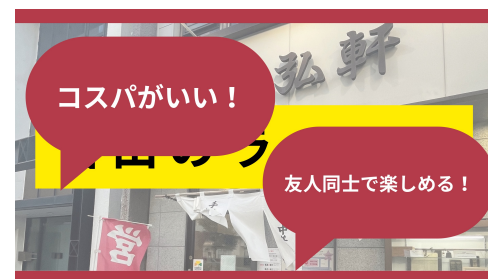
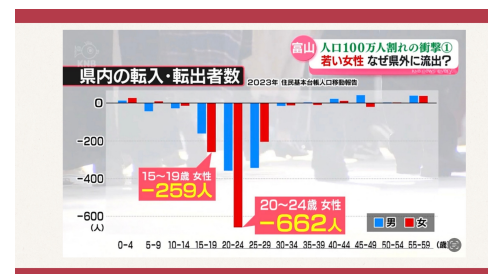


チャレンジジャーヨ 「ラーメン/寿司賞」



目的

- 1 若者層（高校生・大学生）への普及・啓発を進めること



若者応援してくださる大人の方へ

地域の大人と協力して活動に取り組めるような機会を増やし、富山で学生が挑戦できる環境を整えてほしいです！



一般

吉田大地 さん 28歳

空き家を面白い人
が集まる場所に変
えてみせます！

南砺市福野の空き家をものづくり ひとつづくりの拠点へ

南砺市福野の空き家を活用し、ものづくりとひとつづくりの拠点を目指している。150坪の家と400坪の土地を改修し、創作・宿泊・販売・交流が一体化したクリエイターコミュニティを構築中。シェアハウス運営で得た経験を生かし、地域の創造拠点として再生を進める。「人が集えば町は変わる」を信念に、若者と共に地域の未来を創ろうとしている。



チャレンジ4

「空き家で幸せをシェアしま賞」

シェアハウスを
はじめとした空き家活用に
目覚める。



南砺市福野の空き家を
ものづくり、ひとつづくりの
拠点へ

クリエイター
コミュニティ！



150坪の家！





富山大学

池田瞳

さん

19歳

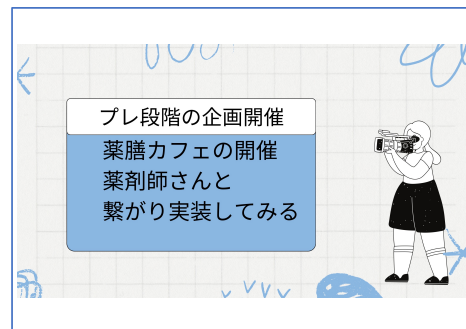
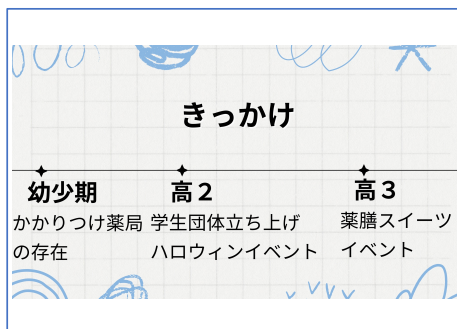
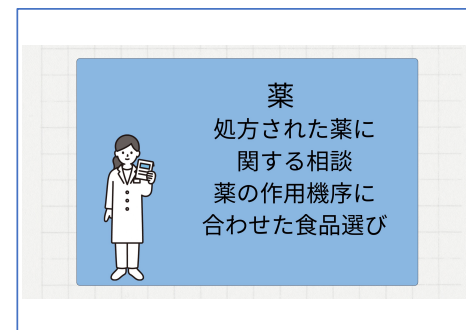
薬局のイメージを
一新させます！

薬局を地域の健康の中心に

「薬局を地域の健康の中心に」を目標に掲げる。薬と食と運動を組み合わせ、スーパー併設型薬局を提案。薬の相談、薬膳惣菜の共同開発、健康チェックや体操教室の開催などを通じ、高齢者が自然に健康づくりへ参加できる場を目指す。地域住民が気軽に集えるコミュニティ拠点として薬局の新しい可能性を拓こうとしている。



チャレンジャー5 「富山健康増進賞」



1.「買い物ついで」なら無関心層でも自然に習慣化
多くの人が高頻度で訪れるスーパーが会場だから、気軽に参加可能。年中無休で、時間も決まっているので、健康に関心なかった人でも習慣化しやすい。

2.雰囲気や参加者が見えるから安心して参加できる
公民館など外から見えない場所は参加の心理的ハードルが高いが、オープンスペースは興味を引きやすく、会の様子も分かる。

3.孤立しがちな高齢者の社会参加や学びの場となる
体験の後は健康づくりの講座も受けられ、関心を高める機会に。健康増進だけでなく、高齢者の社会参加や孤立の予防にも。



一般

水野美月さん 29歳

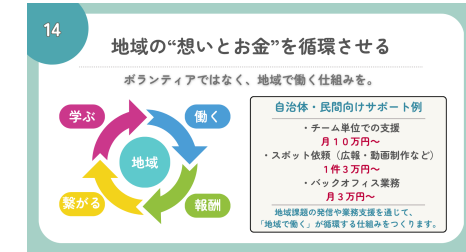
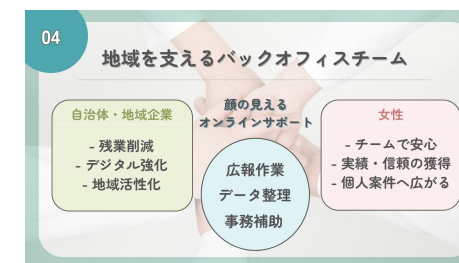
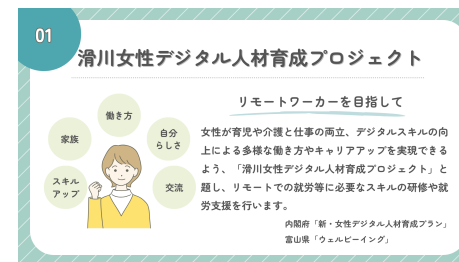
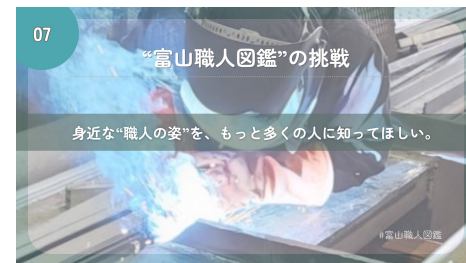
若手主婦が地方課題に挑みます！

富山から広がる、ウェルビーイングの輪

「支える人を支える、地域のしくみ」をテーマに、女性や職人が活躍できる地域循環型モデルを提案。滑川女性デジタル人材育成プロジェクトを通じ、リモートワークやバックオフィス支援で地域の裏方を担う仕組みを構築。さらに「富山職人図鑑」で地域の技を次世代へつなぎ、「はたらばこ」構想で仕事と想いとお金循環する地域経済を目指している。



チャレンジャー6 「推しは職人(旦那)賞」 富山第一銀行賞





高岡南高校

中林華穂 さん

17歳

学生の力で、高岡
の歴史的街並を物
語の世界へ！

まちいろ物語

～あなたも、この街の物語の主人公へ～

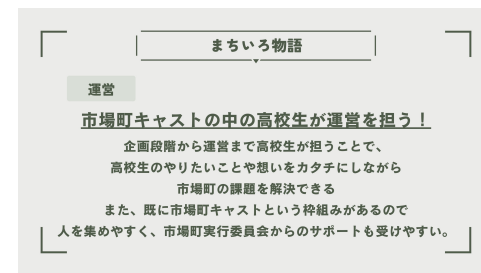
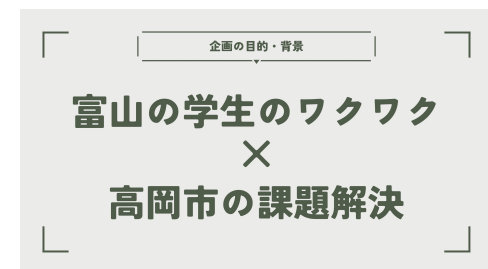
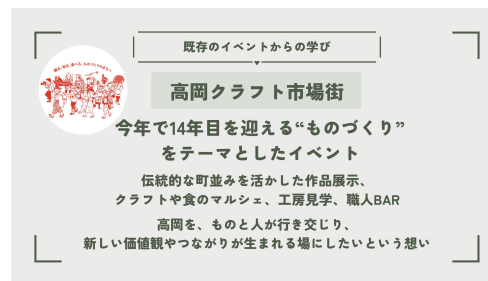
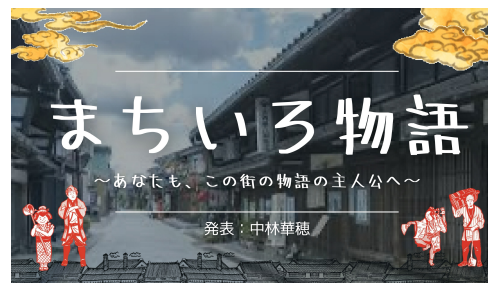
まちいろ物語～あなたもこの街の主人公へ～」をテーマに、高岡の伝統と学生のワクワクを融合した地域活性化プロジェクトを企画。高校生が運営する「市場街キャスト」として職人や観光客と交流し、伝統工芸を体験的に学ぶ仕組みを構築。江戸の屋台・忍者体験・鷹籠タクシーなどを通じて、歴史と文化を楽しく継承する「まちの物語づくり」を目指している。



チャレンジャー

「アイデアの泉賞」

富山県知事賞



スーパーアドバイザー

レオス・キャピタルワークス株式会社
代表取締役社長 最高投資責任者

藤野 英人氏



株式会社東京証券取引所
金融リテラシーサポート部長

菊地 晶子氏



株式会社北陸銀行
営業統括部 営業統括室長

助川 保和氏



株式会社富山第一銀行
執行役員法人事業部副部長兼リテール部副部長

砂原 学氏



富山県
商工労働部長

山室 芳剛氏



パネルディスカッションⅠ

「これからの若者起業に期待すること」をテーマに、投資家の藤野英人氏（レオス・キャピタルワークス）、堂田丈明氏（Google／DX推進専門家・オンライン登壇）、中川めぐみ氏（若手企業家）が登壇。投資・テクノロジー・地域経営の視点から、若者起業の可能性や支援の在り方を議論した。挑戦を後押しする社会環境づくりと、地域発スタートアップの芽を育てるための具体的なアクションを共有する場となった。



パネルディスカッションⅡ

「若者起業の成長と次の一步」をテーマに、昨年度発表者の高校生起業家・油谷駿杜さんと、起業を志す小金澤芹羽さんが登壇。実践を通じた学びや課題、次なる挑戦への意欲を語った。さらに日本政策金融公庫の担当者が、若者起業への資金支援や伴走の重要性を紹介。観客の高校生たちも質問で参加し、挑戦の経験が次世代へとつながる「富山モデル」の形を体現する対話の時間となった。



ビジネスフロンティア協賛企業賞



北陸銀行賞：源美羽さん



富山第一銀行賞：水野美月さん



北陸銀行賞：高岡向陵高等学校



富山第一銀行賞：能登支援有志団体

JPXラボ賞



JPXラボ賞：上市高等学校

知事賞



知事賞：中林華穂さん

日本政策金融賞



日本政策金融公庫賞：源美羽さん

マルシェ 当日参加した学生は、110名



とやまワカモノ・サミット2025 株主総会 12月5日

アーカイブにて開催 日程 12月5日(金)

内 容 各模擬会社生徒による販売実績の報告(各チーム5分程度の発表)

参加校 新川高校、向陵高校、新湊高校、滑川高校、富山第一高校、上市高校、富山高等専門学校、有志高校生の生徒、

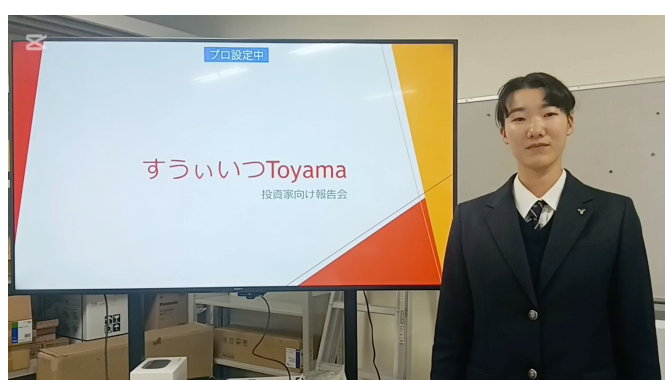
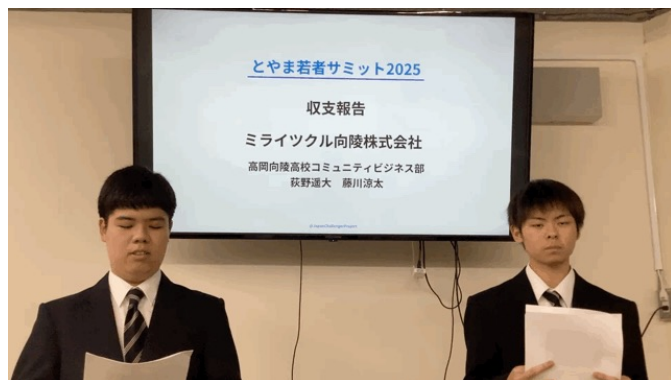
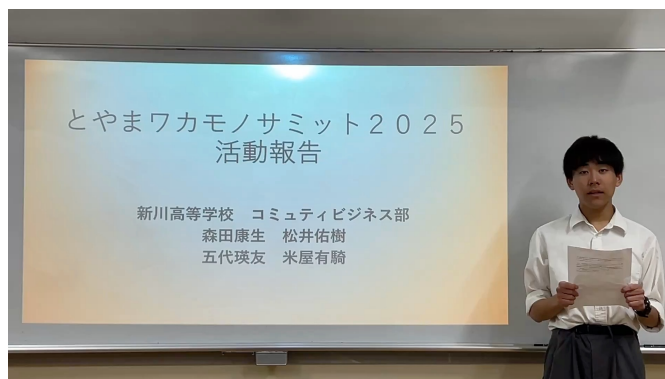
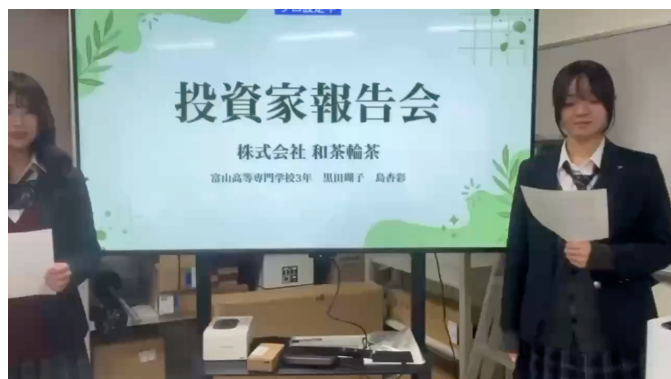
株 主 DERA-DESIGN 村本隆 エドマエスシマサ 竹中志光 家印(株) (株)グラフ (株)深松組北陸支店 社会保険労

務士法人 LaLaコンサルティング 濱中小企業診断士事務所 竹中志光 医療法人吉本レディースクリニック

(株)ユーズドネット 小竹三世 (株)ハテナブック 品川祐一郎 (株)野上緑化 (株)就活ラジオ (有)hs style

弁護士法人山本・越後法律事務所 (有)放生若狭屋 (株)上市屋 (有)北砺ビルサービス (有)荒木商会

(株)ル・ソレイユ アルミファクトリー(株) イセ(株)



とやまワカモノ・サミット2025 高校生事務局

とやまワカモノサミット2025高校生事務局（Instagram：@toyama_wakamono2025）は、県内高校生による起業・地域活性化プロジェクトを広報し、若者の“挑戦”を可視化するための発信拠点です。事務局は、企画段階から販売、資金調達までを体験する高校生チームの活動をドキュメント撮影し、Instagram上でリアルな学び・成功・失敗を共有。投稿では、商品の企画プロセス、準備風景、説明会やマルシェ本番の様子、投資家説明会のピッチ写真などを掲載し、「高校生が自ら動く姿」を地域に発信しています。また、フォロワーとの双方向コミュニケーションを図ることで、起業家マインドや地域への貢献意欲を醸成。これにより、若者が地域の一員として可能性を引き出す場を創出し、「挑戦しよう」というスローガンのもと、ふるさとを次世代につなぐムーブメントをSNSで加速させました。

代表 源美羽 経理 萩野朱音 司会・介添・広報 小嶋瑞季、神島光里 Au 佐野遥人、平瀬潤

広報 久保百々香、桐谷太陽 タイムキーパー 堀田想詞、山橋優心



司会

仲木威雄（公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト 理事）
平野 裕加里

総合プロデューサー・演出

中川直洋（公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト）

プロデューサー

坂東秀昭（一般社団法人みらいまちラボ共同代表）
（公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト理事）

ディレクター

東田一起（公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト）
樽本理子（公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト）
柴田花菜（公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト）

アシスタントディレクター

奥川愛音（公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト）

マルシェ担当 西田朱里

運営・音響 久々江努（アートエレクトロン）

設営 レントオール

デザイン QLOCO

